

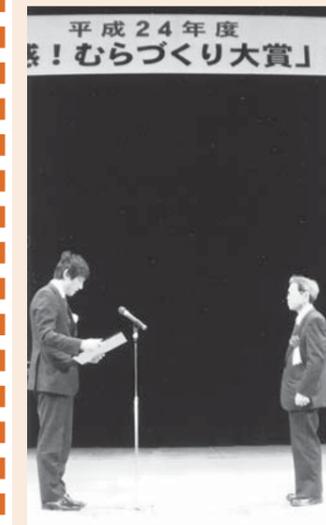
# 菅地区が最優秀賞

「幸せ実感！むらづくり大賞」  
 県内の農山漁村におけるむらづくり活動の中から他の模範となる特に優良な団体を表彰する「幸せ実感！むらづくり大賞」。その最優秀賞に菅地区が選ばれました。

菅地区は、菅地域振興会を中心に、棚田オーナー制度、茶オーナー制度、鮎の瀬交流館の運営、縁側カフェ、里山レストランなどの都市住民との交流を取り入れた活動を続け、「自分たちの地域は自分たちの手で」をモットーに活動しています。

昨年山都町で行われた第18回全国棚田（千枚田）サミットでも、現地見学会を「菅棚田」で実施。菅地域の住民が一丸となり、150人の見学者をもてなしました。

菅地域振興会の渡邊正弘会長は「長年、地域のみんなで取り組んでいる活動がこうして認められるのはうれしいです。」と受賞の感想を語ってくれました。



受賞式。右が渡邊正弘会長

# 地方自治の発展に貢献 ～議員功労表彰～



左から稲葉議員、田上議員、梅田議員

山都町議会の稲葉富人議員と梅田幸雄議員が、町議会議員として15年以上在職し、地方自治の発展や地域の振興への功労が認められ、全国町村議会議長会から表彰を受けました。また、田上聖議員は、23年以上にわたる長年の議員としての活動が地域の発展に大きく貢献したことが認められ、熊本県町村議会議長会から表彰を受けました。

# 自然の中で豊かに育つ子どもたち その39

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

今年の干支は「巳」、つまりへび年。へびと聞いて怖いと思う人も多いと思うが、へびの生態についてお話ししよう。昔は、よく家屋にへびが住み着き「屋敷へび」と呼ばれていた。このへびはアオダイショウという種類で、特にネズミや小動物を餌とする。ネズミの害を防ぐため「屋敷へび」は人の役にもなり重宝された。昔は「屋敷へび」を殺したらいかん。」と言われた記憶がある。

アオダイショウは、日本産へび類では最大種で、全長は2mを優に越える。3枚の写真はいずれもアオダイショウの抜け殻だ。御岳小学校の子どもたちの持っている抜け殻は、長さが2m10cm以上もあった。ネズミなどを捕食することから、人の生活と関係が深く、人里やその周辺に生息し、深山などで観察されることは少ない。

アオダイショウは無毒でおとなしいへびだが、人にいじめられた経験のある個体は攻撃的になる場合がある。夏にはツバメの巣の卵やヒナを狙って校舎の壁に登るアオダイショウをよく見かける。アオダイショウの体は、腹板の側方に側稜と呼ばれる部位があり、それを引っかけながら垂直の壁に登ることができる。また、獲物を丸呑みし、消化できない骨や羽、毛などをペリットとして固めて吐き出すなど、不思議な体の仕組みや生態がある。

ところで、最近、里山周辺のへびの数が減少しているように感じる。山都町においても以前に比べてへびが少なくなっている原因の一つとして、増えすぎたイノシシにへびが食べられていくという話も聞く。

今年へび年、へびを詳しく観察するのもいいだろう。ただし、毒へびには注意が必要だ。山都町に生息する毒へびは、ニホンマムシとヤマカガシ（山都町では「あずきへび」と呼ばれている）の二種がいる。



平成20年御岳小学校

平成24年清和小学校

# 日向往環歴史ウォークin山都町

- ①春の花々が参加者を迎えます。
- ②温かい地域のおもてなし（北中島十田里）
- ③2日目、雨の中、歓喜のゴール
- ④当時を思わせる衣装で参加された方も（山屋トンネル）



3月16・17日の2日間、日向往環歴史ウォークin山都町が行われました。2日間4つのコースに754人が参加。第8回目を迎えた今回のコースは、1日目、通潤橋から馬見原商店街までの「めざせ馬見原コース（約23km）」と「馬見原散策コース（約5km）」。そして、2日目、御船町上野の鼎春園をスタートし、通潤橋を目指す「めざせ通潤橋コース（約20km）」と「浜町散策コース（約6km）」のコースが準備されました。昨年、雨に降られたこの大会。今回、1日目は気持ちの良い晴天でしたが、2日目は午後から雨。最後に残念な天気となりましたが、参加者は、ところどころに春の気配が見える街道を楽しみながら歩いていました。今回の大会もボランティアのみなさんの大きな支えがありました。観光協会や日向往環顕彰会、馬見原まちづくり協議会によるガイド、そして、沿線の地域の方々が、公民館を開放して休憩所などを設けるなど、心からのおもてなしが参加者を迎えました。各地区の女性部の方々が、手作りのおにぎりや果物・お菓子を提供して「おつかれさま。がんばって。」と参加者を励まして送り出していました。

# YOU&YOU通信 Vol.70

## \*YOU&YOUカップル誕生\*

YOU&YOU 26組目となる夫婦が誕生しました。1月23日に入籍された白鷹浩之さん、明美さん夫婦（清和地区）です。

出会いは、平成23年11月の熊本市で行った日帰り交流会です。同世代の二人は、始めて出会ったとは思えないほどに素敵な雰囲気でも、とても期待していたカップルでした。その後、1年数ヶ月のお付き合い期間を経て、ゴールインされました。

入籍をされたお二人、お付き合い中のアンケートで、「出会って本当に良かった、毎日が楽しく、最後に参加して良かった！」さらに、まだ参加していない独身者へということ、ぜひ勇気を出して参加して、積極的に行動してほしい」との言葉をいただいています。



白鷹浩之さん、明美さん夫婦  
新しい生活をスタートさせるお二人、寄り添いながら素敵な家庭を築かれることでしょう。

**\*二月交流会紹介\***  
 今回は、まだまだ寒さが厳しい季節2月17日（日）に男女合わせて10人の参加で、五ヶ瀬町・高千穂町方面に出掛けました。パワースポットとして有

**【平成25年度は菜園交流会をします!!】**  
 新年度上半期は、前回は掲載させていただいたように、山都町で菜園交流会を予定しています。参加者の皆さんで、野菜作り（トマト・ピーマン等）をして、オリジナルレシピで料理体験や懇親会を予定しています。参加したいと思う方、お気軽にお問い合わせください。

**●問い合わせ先**  
 YOU&YOU事務局  
 （役場 総務課）成瀬・吉田  
 【専用電話】090-9565-9589  
 【専用アドレスPC】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp  
 【専用アドレス携帯】you\_and\_you@docomone.jp